

目次	
口絵	
序	
凡例	
細目次	
第一章 日露戦後経営の展開と政党政治の新潮流	3
第一節 日露戦後経営の方針	3
一 日露戦後経営の方針	3
二 日露戦後の税徴収体制	7
第二節 町村合併と地方改良運動	30
一 一九〇六年の町村大合併	30
二 地方改良運動と地域振興の構想	67
三 郡制度をめぐって	83
第三節 地域基盤の整備と都市の発展	96
一 地域基盤・産業基盤の整備	96
二 日露戦後の都市の発達と都市行政	106
第四節 日露戦後の軍事と植民地への対応	150
一 戦捷記念事業と日露戦後の軍事	150
二 軍事と地域社会	162
三 植民地と愛知県	176
第五節 「明治」から「大正」へ	184
一 明治天皇の死去と大喪	184
二 悠紀齋田点定問題と大正天皇即位礼	192
第六節 日露戦後から大正政変期の政党	208
一 政友会の内紛と非政友勢力の形成	208
二 大正政変と愛知政界	225
第二章 第一次世界大戦下の愛知県の発展と矛盾	263
第一節 第一次世界大戦下の県行政と町村行政	263
一 第一次世界大戦への対応	263
二 第一次世界大戦下の地方自治	284
第二節 地方都市の発展と矛盾	307
一 名古屋市電車焼き討ち事件への対応	307
二 岡崎の市制施行と「大名古屋」の構想	329
第三節 米価騰貴問題・米騒動と治安維持	362
一 愛知県の対応	362
二 都市部の対応	365
三 郡部・農村部の対応	374
第四節 第一次大戦期の政党	381

一 国政選挙における二大政党化の進展	381
二 県会における非政友派の優位と内部対立	403
第三章 「大愛知」の成立と展開	423
第一節 第一次世界大戦戦後経営と工業化・都市化の進展	423
一 民力涵養運動と戦後経営	423
第二節 第一次世界大戦後における都市の発達	465
一 各市の発展と都市計画の実施	465
二 都市環境の整備と社会政策	485
第三節 第一次世界大戦後の町村行政と地域振興	499
一 第一次世界大戦後の町村行政	499
二 農村振興と農民党の構想	533
三 郡制・郡役所廃止問題	543
第四節 大国主義と思想的統合	558
一 国体論的価値意識の諸相	558
二 五大強国の基盤形成	579
第五節 第一次大戦後から第二次護憲運動期の政党	613
一 第一次大戦後における政友会の優勢と内部対立	613
二 第二次護憲運動期の愛知政界	634
三 政友本党の内部対立と県会	648
第六節 第一次大戦後の地域と軍事	657
一 渥美郡高師原演習場問題	657
二 第十五師団廃止問題と第十八連隊移転問題	662
第七節 「昭和」への改元	667
第四章 体制的危機下の愛知県	679
第一節 金融恐慌下の県政	679
一 経済的危機と県臨時財政調査会	679
二 緊縮財政下の市町村行政	698
三 合併問題と各地の市制・町制施行	708
四 名古屋博覧会と都市機能の拡大	715
五 ハンセン病への対応	723
第二節 昭和初期の政党政治と県会	727
一 昭和初期の愛知県の政情	727
二 二大政党と無産政党	732
三 「普通選挙」の実施をめぐる	751
四 民政党への批判と動揺	773
第三節 思想問題への対応と教化総動員運動	783
一 昭和天皇即位行事	783
二 思想問題への対応	808
三 教化総動員運動の展開	813

第四節 昭和恐慌の発生と恐慌への対応	828
一 緊縮財政と公私経済緊縮運動	828
二 不況対策・失業対策の推進	844
第五節 十五年戦争の前提	850
一 昭和二年陸軍特別大演習	850
二 第三師団の山東出兵と防空大演習	858
解説	877
頻出語句・用語一覧	
あとがき	
資料提供者及び協力者	
愛知県史編さん関係者名簿	